

「釧路湿原自然再生協議会」

# 第 11 回 湿 原 再 生 小 委 員 会

資 料

平成 2 4 年 1 1 月 8 日

釧路湿原自然再生協議会運営事務局

# 釧路湿原自然再生協議会

## － 第 11 回 湿原再生小委員会 －

日時：平成 24 年 11 月 8 日（木） 13：30～15：30

場所：釧路地方合同庁舎 5 階 第 1 会議室

### ----- 議 事 次 第 -----

#### 1. 開 会

#### 2. 議 事

##### 1) 幌呂地区湿原再生

今年度の実施予定等について

##### 2) 達古武湖自然再生

達古武湖自然再生事業実施計画(案)について

#### 3. その他

・ 広里地区湿原再生事業実施計画の策定について

#### 4. 閉 会

----- 配 付 資 料 -----

- ・ 第 11 回湿原再生小委員会資料
- ・ 出席者名簿
- ・ 座席表
- ・ 幌呂地区湿原再生について
- ・ 達古武湖の現状と課題について
- ・ 達古武湖自然再生事業実施計画（案）【概要】
- ・ 達古武湖自然再生事業実施計画（案）
- ・ 第 10 回湿原再生小委員会ニュースレター
- ・ 幌呂地区湿原再生実施計画

釧路湿原自然再生協議会  
湿原再生小委員会 委員名簿

計:39名

■個人(17名)

(敬称略、五十音順)

No	氏名	所属
1	植村 滋	北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター
2	金子 正美	酪農学園大学 農食環境学群 環境共生学類 環境GIS研究室 教授
3	亀山 哲	国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター 生態系機能評価研究室 主任研究員
4	神田 房行	北海道教育大学 教授
5	木村 勲	
6	清水 信彦	
7	新庄 興	
8	新庄 久志	釧路国際ウエットランドセンター主任技術委員(環境ファシリテーター)
9	杉澤 拓男	
10	杉山 伸一	環境カウンセラー(市民部門)
11	辻井 達一	財団法人 北海道環境財団 理事長
12	中村 隆俊	東京農業大学 生物産業学部 講師
13	中村 太士	北海道大学大学院 農学研究院 教授
14	橋本 正雄	日本野鳥の会釧路支部 副支部長
15	松本 文雄	
16	矢部 和夫	札幌市立大学 教授
17	山田 浩之	北海道大学大学院 農学研究院 農林環境情報学研究室 助教

■団体(15団体)

(敬称略、五十音順)

No	団体/機関名	代表者名
1	釧路川カヌーネットワーク	会長 小川 清史
2	釧路自然保護協会	会長 神田 房行
3	公益財団法人 日本生態系協会	会長 池谷 奉文
4	公益財団法人 日本野鳥の会 鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ	チーフレンジャー 有田 茂生
5	さっぽろ自然調査館	代表 渡辺 修
6	鶴居村タンチョウ愛護会	会長 菅原 啓
7	鶴居排水路維持管理組合	組合長 瀬川 勝巳
8	塘路ネイチャーセンター	センター長 鷲見 祐将
9	特定非営利活動法人EnVision環境保全事務所	理事長 赤松 里香
10	特定非営利活動法人 釧路湿原やちの会	理事長 杉山 伸一
11	特定非営利活動法人タンチョウ保護研究グループ	理事長 百瀬 邦和
12	特定非営利活動法人 トラストサルン釧路	理事長 黒澤 信道
13	北海道標茶高等学校	校長 西田 丈夫
14	北海道プロフェッショナルフィッシングガイド協会	会長 テディ 齋藤
15	ボランティアネットワークチャレンジ隊	代表 佐竹 直子

■オブザーバー(3団体)

(敬称略、五十音順)

No	団体/機関名	代表者名
1	標茶町農業協同組合	代表理事組合長 高取 剛
2	釧路丹頂農業協同組合	代表理事組合長 瀧澤 義一
3	鶴居村商工会	会長 大津 泰則

■関係行政機関(4機関)

(敬称略、五十音順)

No	団体/機関名	代表者名
1	国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部	部長 岡部 和憲
2	環境省 釧路自然環境事務所	所長 西山 理行
3	釧路市	市長 蝦名 大也
4	鶴居村	村長 大石 正行

## 湿原再生小委員会の検討経過

	議事
第1回 H16. 2. 17	1) 全体構想と小委員会との関わりについて 2) これまでの調査・検討経緯について (1) 広里地区湿原再生について (2) 幌呂川地区湿原再生について (3) 雪裡樋門湛水試験について 3) 今後の調査・検討方針について
第2回 H16. 6. 25	1) 平成15年度の調査・検討成果について 2) 平成16年度以降の調査・検討方針について 3) 全体構想との関わりについて
第3回 H17. 5. 11	1) 小委員長選出について 2) H16年度調査検討結果とH17年度調査検討計画について (1) 釧路湿原の面積について (2) 釧路湿原全域動植物調査の概要 (3) 広里地区 (4) 幌呂川地区 (5) 関連する農業整備事業について (6) 雪裡樋門地区
第4回 H20. 3. 3	1) 幌呂地区の変遷と現状 2) 幌呂地区で生じた現象と課題 3) 幌呂地区の湿原再生目標の設定 4) 広里地区の湿原再生
第5回 H21. 3. 18	1) 幌呂地区の湿原再生目標の概要 2) 幌呂地区 平成20年度の調査結果 3) 平成21年度の予定
第6回 H22. 9. 2	1) 幌呂地区湿原再生について 2) 広里地区湿原再生について 3) 釧路湿原の面積について 4) 5年目の施策の点検について
第7回 H23. 1. 19	1) 幌呂地区現地植生回復試験について 2) 幌呂地区湿原再生について 3) 5年目の施策の振り返りについて
第8回 H23. 4. 27	1) 幌呂地区現地植生回復試験について 2) 幌呂地区湿原再生のリファレンスサイトについて
第9回 H23. 10. 20	1) 幌呂地区湿原再生（基本方針）について 2) 幌呂地区湿原再生（実施方針）について 3) モニタリング計画について 4) 広里地区自然再生について （旧農地区域の湿原への再生、ハンノキ林の取扱いの検討） 5) 釧路湿原の面積について
第10回 H24. 1. 18	1) 幌呂地区湿原再生実施計画（案）について 2) 達古武湖における自然再生の取り組みについて 3) 釧路湿原の面積について

第 10 回湿原再生小委員会の発言概要と今後の検討方針（案）

項目	発言概要	回答および今後の検討方針（案）	備考
幌呂地区湿原再生実施計画（案）について	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施計画書 P20「目標」のところ、B地区の「ハンノキ林の隣地環境の修復」という記述が、一般の人にわかりにくいので、「ハンノキの成長抑制」にした方がよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>B地区の目標を、「ハンノキの成長抑制」に修正する。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事実施後、リファレンスに近づけることの事業目標に対して、良否の評価結果を逐次報告してもらえるか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>モニタリング結果を逐次小委員会に報告する。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施計画(案)については、今後、協議会において改めて議論していただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第 17 回の釧路湿原自然再生協議会で説明を行い、協議会で議論し計画を策定します。</li> </ul>	
達古武湖における自然再生の取り組みについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒシを除去したらアオコが出る可能性はどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在、アオコの発生や水質の悪化は見られていないが、広げた場合にどうかバランスを見ながらやっていきたい。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒシは（達古武湖の）全面を覆っているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今のところほぼ全面を覆うような形で広がっている。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>南部湿地帯での栄養塩の除去方法は何かあるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後検討していきたい。</li> </ul>	